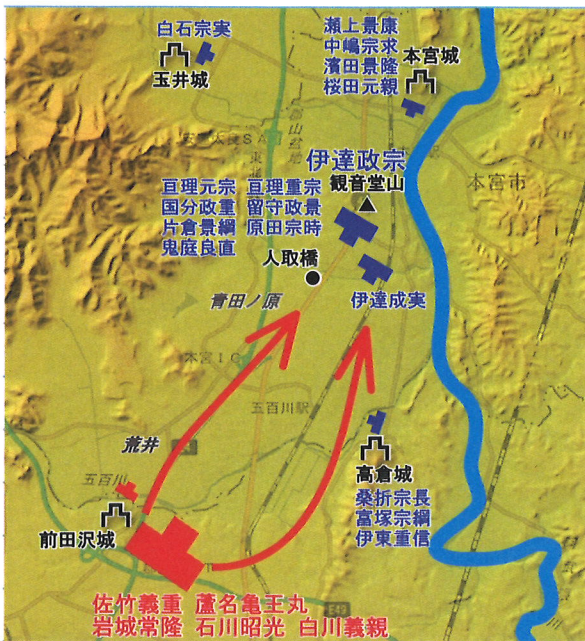


アノコに投票 第一弾「人取橋の戦い」



天正13年11月17日(1586年11月6日)

安達郡本宮(福島県本館)の人取橋周辺で起きた合戦
仙道・人取橋合戦、高倉合戦と伊達政宗公率いる伊達軍7,000に対して、
佐竹・蘆名・二階堂・岩城・石川・白河各領の連合軍30,000

人取橋の戦いに至るまで

永禄10年(1567)8月3日 政宗公 米沢に誕生

13歳の時、三春城主田村清顕の娘 愛姫様と結婚

天正12年(1584)10月 父・輝宗公より家督を譲られ、

伊達氏17世当主となる。この時、政宗公18歳

伊達と田村の連合により二家にはさまれることになった。塩松の

人取橋の戦い模写図(地理院地図を加工で作成)

小浜城主大内定綱は一度は政宗公に臣従を誓うが...

天正13年春 大内定綱叛乱『たとえ滅亡に及んでも参るまじ』→政宗公「喜び手引きするのは蘆名だ!」

・検原峠を越え蘆名攻め→失敗

・成実の提案で猪苗代盛国を調略→失敗

→成実『まず以て大内御退治然るべし』→大内宿臣 灰木田城主 青木修理の調略→成功

・小千森城の撫で斬り、小浜城・宮森城を攻めも大内定綱は二本松を経て蘆名氏の会津へ逃走

・定綱に味方した二本松城主 島山義継は恭順を示すも、天正13年10月8日 宮森城での輝宗公の会見の席に
輝宗公に拉致 高田原にて輝宗公は命を落とし 義継一党も悉く討たれた(栗/栗の変)

・天正13年10月15日 輝宗公の初七日明けに二本松城攻め→落城せず→15日夜から18日にかけ大雪

・10月21日 政宗公は小浜城へ引き上げた『兎角 年中は御修めき叶うまじ』

・ところが11月10日頃 佐竹義重・蘆名龜王丸・岩城常隆・石川昭光・白川義親の連合軍30,000が須賀川へ
出馬したという知らせが入る→政宗公 岩角城に出馬、高倉城・本宮城・玉井城の守りを固める

→浪川城にいた成実は勢力の過半を浪川に残し、小浜に人数を置いて 岩角を経て米沢に着陣

・11月16日 佐竹・蘆名連合軍は前田沢南の原に着陣 政宗公は岩角より本宮へ陣を移す

・11月17日 政宗公 御本陣を親善堂山に備える 連合軍は①高倉城の西から②荒井・青田原③後軍
の3手に分けて未明より進軍→高倉城の伊東重信『たとえ押入外候へども本宮へ通報人数留り申可く候はせ給ふ』

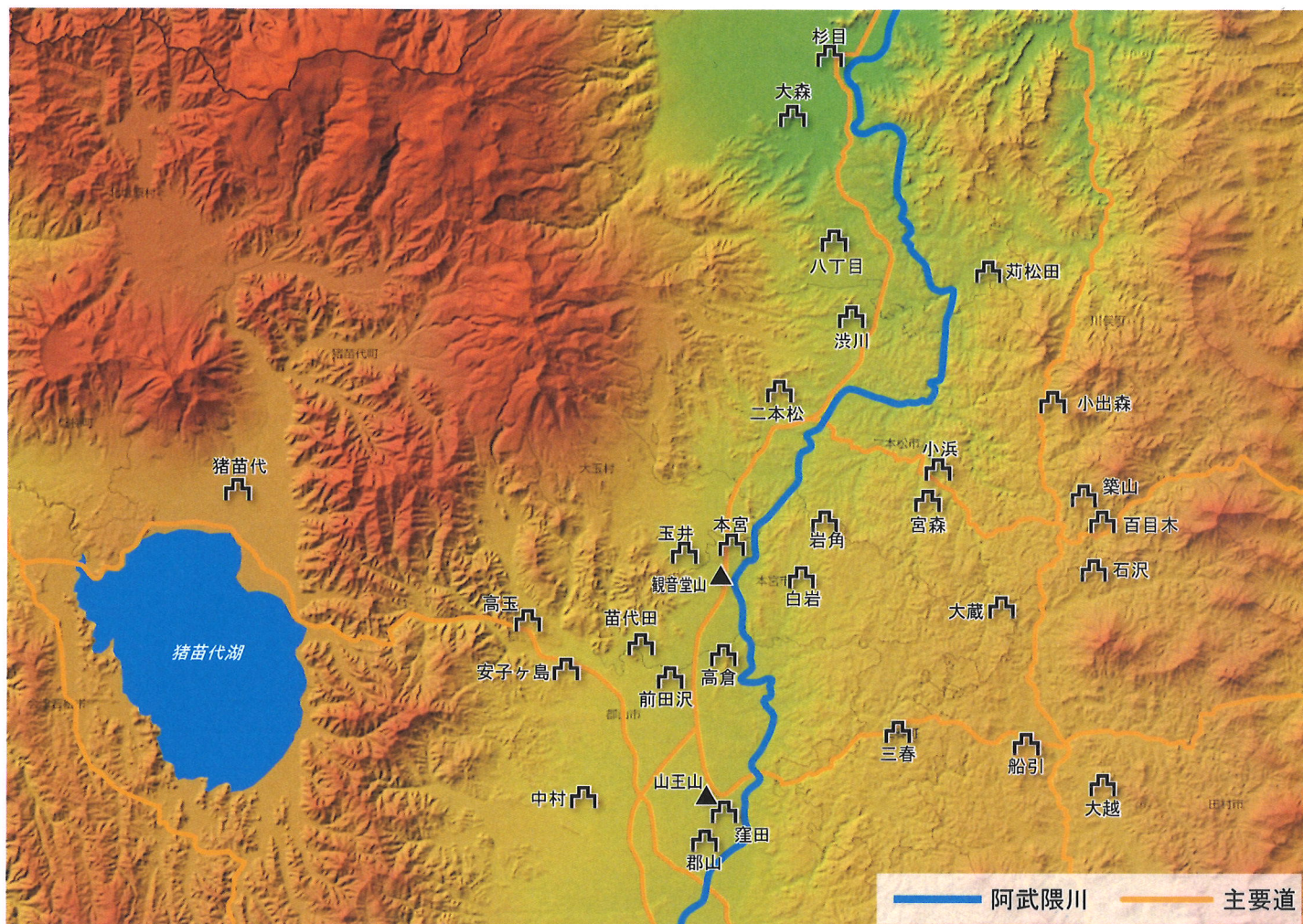
・鬼庭左衛門 人取橋で戦う『大老おかし 甲冑を著せが黄葉帽子を冠り』・人取橋は一進一退の攻防

・下郡山内記、成実に退却を迫る→成実『たとえ引退くは討死を疑いなし 一向こゝにて討死すべし』

・政宗公 絶体絶命の危機を成実家臣が救う・政宗公もすねお・胴盾に鉄砲で、兎に矢の押入で→瑞鳳殿の

・伊達軍はギリギリのところで持ちこたえ 日没に双方『討死』(戦闘終結、政宗公は岩角に引き揚げた 副将品部

・翌日本宮での決戦に備えて 何故か連合軍は撤退 →伊達家にと、これは引き分け? 負け? 勝利?



仙道諸城図 (地理院地図加工作成)



YouTube 伊達義将隊 チャンネル

【無観客支倉なひと】P20-1投票 第二弾

「伊達三傑と鬼小十郎」

3月25日(水) 19:30~生配信

チャンネル登録と

高評価 お願いします!